

大自在

日本では25年前に沖縄で見られて以来だそう、今回を逃すと次に見られるのは18年後の北海道だといつか天体ファンならずとも見逃せない。今月21日早朝、日本の広い範囲で起きる「金環日食」である▼太陽が月に隠れ、細いリングのようになる現象だ。午前6時台に太陽が欠け始めて午前7時半前後に九州から四国、近畿、中部関東など幅広い範囲で金環日食となる。国立天文台などは、条件が良ければ約8300万人が観測可能と試算している▼専門家によれば、日本でこれほど広い範囲で金環日食が起きるのは932年ぶりだそう。日本史をひもとけば平安時代であり、大河ドラマで活躍中の平清盛が生まれる以前の時代である。当時の民衆がこの現象をどう感じていたのか。そう考えるだけでも話題は尽きない▼子どもたちにとって科学や宇宙に目を向けるまたとない機会にもなる。今は危険とされているが幼い頃、色つきの下敷きや、すすを付けたガラスを空に向け、太陽をまじまじと見たことがある▼県内でも登校時間を早めたり、遅らせたりして、金環日食をじっくり観測できるように計画している小中学校が少なくないようだ。日々の学習はもちろん、遊びもゲームなどで視線を下けている場合が多いのではない。たまには空を見上げ、はるか遠くを見るのもいい▼ただし、観察には細心の注意が必要だ。肉眼などの無防備な観察は眼痛や、めまいを引き起こす危険があるという。歴史的な天体ショーは安全に楽しく観察したい。後は「天気になあれ」。

2012.5.4

2012年5月4日朝刊 1面

- ① 21日早朝に見られるのは何でしょうか。
- ② 日本で、広い範囲にわたって見られるのは何年ぶりでしょうか。
- ③ このコラムに題を付けましょう。

年 組 名前

(小学校高学年以上 理科・総合)